

## 夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 議事要旨

会議名	第3期夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第8回）
日時	令和3年4月30日(金)18時30分～20時00分
出席	米原立将、藤本知香、井村良英、小畑くるみ、唐亀康司、佐藤奈々、田口美幸、安部芳絵、宮田章子、坂下香澄、佐藤米子、小松佳世子、山中ゆう子、飯野結香、佐藤邦彦、栗原一雄、松本零、横内幸子、丹野日和、石川拓海、伊藤梓、角田健太郎、吉田祐太 [事務局] 横塚子ども家庭部長、五箇野子育て推進課長、平川、野島
欠席	赤瀬瞳、畔田世紀子、川手芳尚、石井直行
配布資料	(1) 前回研修で出された意見一覧表 (2) 第3次夢育て・たちかわ子ども 21 プラン成果指標、主な取組指標実績 (3) 第3次夢育て・たちかわ子ども 21 プラン振り返り結果シート (4) 立川市子どもの自己肯定感調査などに関する調査報告書(平成28年度実施)
会議場所	立川市役所 302 会議室（オンライン併用）
<p>1. 委員等紹介</p> <p>(1) 立川市社会福祉協議会 進藤委員から田口委員</p> <p>(2) 立川市立小学校長会 若葉台小学校井土校長から柏小学校佐藤校長</p> <p>(3) 事務局 子育て推進係長</p> <p>2. 前回の研修「コロナ禍と子どもの権利」の振り返りとコロナ禍で子どもたちに必要なことについて</p> <p>(子どもの保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で外出が難しい、預け先がないなど保護者が息抜きできる機会がなくなっている。</li> <li>・ 子どもが学校から配布されたタブレットを活用して、コロナ禍を乗り越える姿がある。</li> <li>・ 去年は休所していた作業所や支援学級、放課後デイサービスも、今は感染対策を行って開所していてありがたい。</li> <li>・ 親が感染したときの子どもの預け先が不安。</li> </ul> <p>(子ども・子育て支援に関する市民団体等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で子どもが外遊びをしづらい状況。冒険遊び場を開催すると、子どもたちの笑顔が見られる。遊びが保障される場が必要。</li> <li>・ 相談窓口のひとつであるチャイルドラインでは、不安や苦しさを訴えるものが多い。</li> <li>・ たまがわ・みらいパークは様々な世代の方が集まっている。より慎重に、安全に配慮して使用する必要がある。今は休館しているが、再開に向けて取り組んでいる。</li> <li>・ 子どもの声を受け止め続けていくことは大切。</li> </ul> <p>(小学校・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度の臨時休校で、学校の意義を改めて感じた。子どもたちの体力の低下が見られ、学校の体育や休み時間の遊び、部活動の時間は大切。</li> </ul>	

- ・ 感染対策を図りつつ、子どもたちの学びを確保していく必要がある。

(保育施設)

- ・ 昨年度は行事をかなり抑えたが、今年度は園として大切な行事は、感染対策を行ったうえでやっていこうと考えている。
- ・ コロナ対策と同様に保護者への支援も大切。できるかぎり寄り添っていきたいが、リモートでは難しい面もある。
- ・ 家庭的保育事業ではこれまで畑作りをしてきたが、今はできない状況。

(子ども・子育て支援に関する事業等に従事する者)

- ・ コロナ禍で子ども食堂が休止となっている。職の支援ということでフードパントリーを行っている。
- ・ 子どもの居場所づくりとして、トワイライトステイの事業などを感染対策を行いつつ継続している。
- ・ 新たな取組として、不登校のお母さんの当事者の会をこぶし会館で開催している。

(学識経験者)

- ・ 学校の臨時休校による子どもたちへの心理的影響は大きかった。今は学校が開いていてありがたい。
- ・ オンライン授業を行っているが自分としては本意ではない。
- ・ 今まで当たり前と思っていたことがとても大事だと再確認した。
- ・ 今日の委員の意見や、東京都の子ども基本条例が今後のプランの見直しにつながっていく。

(市内の事業主を代表する者)

- ・ 緊急事態宣言により、市内の飲食店、そこへ納品する業者は非常に厳しい。収束した際には、お店を助ける意味も込めて使っていただきたい。

(大学生)

- ・ オンライン授業が増えてきている。部活やサークルは少人数なら可能だが、大会が中止になっている。
- ・ 大学近辺の飲食店がつぶれているのを見かける。

(子ども委員)

- ・ 大型連休中も自宅学習となったり、部活動がなくなったりとコロナの影響があり、不安がある。
- ・ 高校では授業時間が短縮されたり、食事も横並びの黙食（会話をしないで食事をする）となっている。臨時休校などにより、中学卒業までの時間も短く感じた。
- ・ 大型連休は部活を含めて休みとなっていて、気分は落ち込んでいる。他の子ども委員の休業中の意見を聞いてよかった。
- ・ 食事などで対面を行わない時期が続いている。部活もほとんどない。友だちとのかかわりが薄れてくるのが心配。対面での活動ができる日が来てほしい。
- ・ 学校では緊急事態宣言を受けて、オンライン授業が行われている。しかし、実技系の科目はプリント作業となることが多く、不便な部分も多い。
- ・ 部活動もオンラインでの開催が出来ればいい。

### 3. その他

#### (1) 委員からの報告

- ・ 柴崎学習館で4回の勉強会。テーマは、「わたし」には関係ない?～困っている子どもたちとどう向き合うか～
- ・ 7月に子ども・若者自立支援ネットワーク支援者研修会としてワークショップを開催。

#### (2) 事務局からの連絡

- ・ 今年度子どもの自己肯定感などに関する調査を実施する。これまでの設問に加えて、子どもたちに聞いてみたい設問を委員から募集する。次回の推進会議で、調査票を確定する。
- ・ 9月12日にこどもとおとなのはなしあい in 市議会議場を開催予定。

#### (3) 次回会議 5月26日 市役所302会議室で午後6時30分から